

■田山花袋 小説家。「蒲団」で自然主義文学を確立し私小説の源流となり、のち仏門に入り回想や歴史小説に転じた。

たやまかたい

廃藩置県・1871= 群馬県館林で、館林藩の下級藩士出の警視庁の巡査の子に生まれる。

明治6年政変 1873= 2歳 :

西南戦争・1877= 6歳 : 父が<西南戦争>で戦死したため、一家は館林に帰り、

一時、東京京橋南伝馬町の有隣書店の丁稚になり、

..... 1880= 9歳 :

明治14年政変 1881=10歳 :

小学校時代から{穎才新誌}に漢詩文を投稿していたが、

帝国大学始・1886=15歳 : 兄の実弥登が修史局の書記になったのを機に、一家をあげて東京牛込富久町に移り住む。

旧館林藩士で当時大学予備門学生だった野島金八郎から英語を学び、西洋文学に関心を持つようになり、兄の世話で桂园派の歌人松浦萩坪の指導を受け、松浦主宰の{紅葉会}で松岡(柳田)国男と知り合う。

帝国憲法発布 1889=18歳 :

足尾鉍毒始・1891=20歳 : 尾崎紅葉に近づき、江見水蔭の成春社に入り、{千紫万紅}に「瓜畑」などを発表。

日清戦争始・1894=23歳 : {文学界}の同人となり、島崎藤村と交わるようになった。

白馬会・1896=25歳 : 親しくなった国木田独歩らと民友社から「抒情詩」を出し、

子規句歌革新 1898=27歳 :

Bushidou・1899=28歳 : 太田玉茗の妹里さと結婚。大橋乙羽の世話で 博文館に入社し、紀行文「南船北馬」を刊行。

ピアノ国産化・1900=29歳 : 週刊{太平洋}に関係し、ゾラをはじめ外国作家の研究、紹介につとめ、

教科書疑獄・1902=31歳 : \*「重右衛門の最後」を発表して注目された。

日露戦争始・1904=33歳 : 「露骨なる描写」を書き、日露戦争に従軍して、

日露戦争終・1905=34歳 : 「第二軍従征日記」をまとめ、客観的な傍観者の態度の上に立つ「平面描写」を打ち出す。

満鉄発足・1906=35歳 : {文章世界}創刊でその主事となる。

韓国反日暴動 1907=36歳 : \*女弟子とのことを暴露した「蒲団」は自然主義文学を確立した作とされる。

アヲキ創刊・1908=37歳 : 以降3年かけて「生」「妻」「縁」の三部作を発表。

伊藤博文暗殺 1909=38歳 : 「田舎教師」を書いて世人の心をとらえるなど、

大逆事件判決 1911=40歳 : 「髪」。愛欲の問題を追求してきたが、

明治天皇没・1912=41歳 : \*博文館退社、40の峠を意識し、フランスのデカダン派作家ユイスマンスを経て、仏教に入り、

民本主義・1916=45歳 : 「時は過ぎゆく」「一兵卒の銃殺」などを書く。

ロシア革命・1917=46歳 : 書きおろしの回想集「東京の三十年」を刊行し、

本格政党内閣 1918=47歳 : 諦念の影を落とす「残雪」をまとめ、

大暴落・1920=49歳 : {文章世界}終刊後は歴史小説に心境を託し、「源義朝」などを書く。

原敬首相暗殺 1921=50歳 :

関東大震災・1923=52歳 : 回想「近代の小説」。

治安維持法・1925=54歳 :

金融恐慌・1927=56歳 : その到達点となる象徴的な長編「百夜」を刊行したが、

共産党事件・1928=57歳 : 脳溢血のため入院、さらに喉頭癌を起こし、

海軍軍縮条約 1930=59歳 : 没した。